



本研究会の今後の進め方

今後の進め方については以下の通り承認されました。

地区交通計画では『歩行環境の向上』を最も重要な目標としていますが、施策の効果を十分に上げるためには、鎌倉域内の交通量を減少させる必要があります。鎌倉地域内への自動車交通を抑制及び公共交通に転換する方策として期待されているのが『総合的な情報提供』と『プロモーション』です。
提言・その2¹では、2つの施策を今後積極的に進める施策として位置づけています。このため、本研究会では、先ず2つの施策の実験に取り組み、施策の効果と問題点を検証していくことを提案します。
『歩行環境の向上策』については、「安心歩行エリア」などの施策と連携しながら取り組んでいきます。また、関連する計画内容については相互に情報交換し、必要な場合には実験などを通じて効果と課題を検証していきます。

1...「鎌倉地域の地区交通計画に関する提言その2」をいう。平成13年9月、先の提言（平成8年5月に提出された提言）後の経過を鑑み、今後の方向性について、旧研究会が市へ提出。

第4回研究会での主な発言

オムニバスタウン計画（中期計画）の策定について

西鎌倉から鎌倉に行くには、乗り継ぎが多く、料金も高いので大変ですよ。

料金については、乗り継ぎ運賃制度による引き下げが考えられるよ。

路線単位でなく、一定のエリアで利用できるゾーン定期は導入できないかな。

需要が見込めるかどうか、慎重に考える必要があるな。

高齢化が進むと、需要構造も変わってくると思うので、そのへんもある程度見ておく必要があるかな。

乗用車タイプの乗合タクシーなら、車両の幅が小さいので、交通不便地域などの狭い道路でも通行できるかな。

全ての交通不便地域で、乗合タクシーが必要かしら。

乗合タクシーの導入には、まず住民の意向を確認した方が良さそう。

乗合タクシーは交通不便地域だけではなく、市全体を対象にした方が使いやすいんじゃないかな。

乗合タクシーは採算性が難しいので、ミニバスから考えたほうが良いのでは。

ミニバスとしては武蔵野市のムーバスが有名だが、観光客も対象にすれば鎌倉でも採算が取れるのでは。

観光ガイドにバスの時刻表が載っていれば、もっと利用しやすいわ。

観光ガイドには鎌倉だけではなく、江ノ島など周辺の情報も入れて欲しいわね。

研究会での主な発言を親しみやすく会話風に編集しました。発言者と人物イラストは直接関係ありません。

研究会に関する詳しいお問い合わせは **鎌倉市交通政策研究会事務局へ**

問い合わせ： 鎌倉市 都市整備部 交通政策課 TEL. 0467(23)3000 (内線2511)
〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号 FAX. 0467(23)8700
E-mail koutsu@city.kamakura.kanagawa.jp

第4回 鎌倉市交通政策研究会が開催されました。

平成15年6月23日、市役所第三分庁舎講堂にて第4回研究会が開催されました。第4回研究会では、第3回研究会（平成15年3月27日開催）で議論された内容を受けて、その後開催された第5回運営委員会での討議結果を踏まえ、今後の研究会の進め方、オムニバスタウン計画（中期計画）の策定などについて話し合いが行われました。

運営委員会...研究会の効率的かつ円滑な運営について必要な協議及び調整を行うため、研究会に運営委員会を置くこととします。なお、運営委員会の委員は、研究会の委員のうちから会長が指名します。

これまでの討議結果

歩行者系道路の扱いは他の部署で扱う「鎌倉市交通安全計画」や「安心歩行エリア」などの計画や制度に位置付け、連携しながら整備を進めていくことが確認されました。今後の研究会の方向性としては、平成8年及び平成13年の提言の基本的な考え方を概ね継承しつつ、新しい考え方も取り入れていくことが合意されました。平成15年度に予定している社会実験（案）が了承されました。

第5回運営委員会での討議結果

研究会の今後の進め方については、他の組織との積極的な情報交換、協力体制の必要性が確認されました。オムニバスタウン計画の検討の中で、乗合タクシー導入については必要性、効果について賛否両論の意見が出されました。公共施設へのアクセスバス路線の整備については賛成意見が出されました。また、運賃についても、単独路線の引き下げや定期券対象路線の設定方法等について議論されました。

第4回研究会での討議内容

これまでの研究会での指摘事項への対応

これまでの指摘事項に対する今後の対応が確認され、研究会の今後の進め方が承認されました。

オムニバスタウン計画（中期計画）の策定

全体計画の概要及び短期の実施策が確認され、今後の検討課題について討議されました。

（内容は中面参照）



第4回研究会（於 市役所講堂）

オムニバスタウン計画（中期計画）の策定について

オムニバスタウン計画とは

- ・この計画は、「市民の足」であるバス交通の再生とともに、まちが抱える自動車事故、交通渋滞、環境悪化等の諸問題を解決するため、マイカーに比べて人、まち、環境にやさしいバス交通の実現を図るために、平成 11 年に策定されました。
- ・計画では施策別に実施時期を短期（H11～15年度）、中期（H16～20年度）、長期（H21年以降）に設定しており、これに従い、短期での施策を実施してきました。
- ・研究会では、短期に実施された施策を確認し、中期で実施すべき施策について検討を行います。

短期での実施施策（主要施策）

・短期では施策を主要施策と補完施策に分類し実施してきました。以下に主要施策を整理します。

- 1. 鎌倉型バスシステムの創造**
 - ・ミニバス路線を既往の2路線に加え、新たに7路線整備し、4つの交通不便地域を解消
- 2. 鎌倉駅、大船駅でのターミナル機能の強化**
 - ・H12年3月に鎌倉駅東口の再整備完了
- 3. バス専用、優先レーンの設置**
 - ・下馬交差点～鎌倉駅前までの上り片側車線約350mについて13時～18時までの間バス優先レーンを導入
- 4. 道路改良等の整備**
 - ・H11年度 鎌倉駅西口、八雲神社前、砂押橋交差点改良を実施
- 5. パークアンドバスライドの導入**
 - ・H13年度 由比ガ浜地下駐車場～鶴岡八幡宮間についてシャトルバスによりパークアンドバスライドを実施
- 6. ノンステップバス等の導入**
 - ・H12年度 中型ノンステップバス3台（京浜急行電鉄）
 - ・H13年度 中型ノンステップバス2台（京浜急行電鉄）
 - ・パークアンドバスライド用小型車両2台もノンステップ車
- 7. 地域に応じたバス車両の導入**
 - ・H12年度 鎌倉駅～大塔宮線で中型ノンステップバスを導入
 - ・H13年度 鎌倉駅～九品寺循環線で中型ノンステップバスを導入

今後の検討課題（たたき台）

凡 例	
	ミニバス路線（運行中）
	ミニバス路線（運行予定）
	ミニバス導入検討路線
	交通不便地域の解消
	新設公共施設
	マイカー乗入れ規制
	ターミナル機能強化

- （全市的な検討課題）
- ・時間帯別運行ルート導入の検討
 - ・機能的なバス停留所整備の推進、バス運行状況案内システムの拡充
 - ・環境手形、環境定期を全市的なゾーン定期としての機能拡充の検討
 - ・ゾーン定期への乗り継ぎシステム組み込みの検討
 - ・交差点改良の推進
 - ・バスベイ整備の推進
 - ・駐停車禁止区域の拡充
 - ・荷捌き対策の検討
 - ・ノンステップバスの導入推進
 - ・低公害バス導入車種の検討
 - ・バス利用促進策の検討（教育など）

